

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年10月20日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年10月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【車両荷台からの荷下ろし作業における協力企業作業員の負傷について】 2020年9月8日車両の荷台上において、作業で発生した廃材を車両の荷台から地面へ降ろす作業をしていた協力企業作業員が、枕木用の角材に左足を半掛かり状態で乗せてしまい、左足首を捻った。 当該作業員と所属企業の現場責任者は問題ないと判断し救急医療室を受診しなかった。 その後、念のため病院を受診した結果、左足首捻挫と診断されていたことを、10月15日に元請企業から報告を受けた。	GⅢ	10月15日